

## 出場申込及び大会出場に関する確認事項

2021年 4月28日  
一般財団法人 少林寺拳法連盟

### 1. 出場申込

申込は、都道府県連盟・各連盟単位で以下のデータを提出し、出場費を納入することで完了となります。

- ① 出場申込書（エクセルデータ）…必要事項を入力し、提出。（メール）
- ② 規定内容チェックシート…科目指定組演武・女子護身技法の部に出場する全ての組分を取りまとめ、提出。（メール・FAX・郵送のいずれか）
- ③ 眼鏡等を着用しての出場に関する誓約書…眼鏡等を着用する場合のみ取りまとめ、提出。（FAX・郵送のいずれか）

#### (1) 提出先：大会事務局

〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通 3-1-59  
一般財団法人 少林寺拳法連盟 振興普及部  
E-mail:shinko-fukyu@shorinjikempo.or.jp  
FAX: 0877-56-6022

#### (2) 申込締切日 **2021年7月16日（金） 大会事務局必着**

#### (3) 申込内容の変更について

- ① 締切日以前（7月16日まで）
  - ・「変更」、「追加」、「取り消し」を受け付けます。
  - その場合、都道府県連盟・各連盟代表者が出場申込書を訂正し、再度ご提出ください。
- ② 締切日より後（7月17日以降～10月7日）
  - ・「取り消し」のみを受け付けます。
  - その場合、都道府県連盟・各連盟代表者より別紙「取消届」をご提出ください。
- ③ 10月8日～大会当日
  - ・大会準備の為、連絡は受け付けません。取り消しは、大会当日の専用ブースにて所属長よりお申し出ください。

#### (4) 連絡ルート

- ・変更、追加、取り消しは、都道府県連盟・各連盟より大会事務局へご連絡ください。出場者の所属長からの直接連絡は受け付けません。
- 但し、10月8日～大会当日に発生した取り消しは、上記（3）③の通りとなります。

#### (5) 注意

- ・各種目の出場者選考は、都道府県連盟・各連盟へ依頼しておりますので、選考会（選考要領等）につきましては、所属する都道府県連盟・各連盟へお問い合わせください。
- ・申込締切後の「変更」、「追加」は一切受け付けません。

### 2. 出場費・入場整理券費用の納入

※出場拳士は出場費・入場整理券が必要です。（本大会では全席指定となります。）

- (1) 出場費 **組演武・運用法・論文 一人 5,500円 ※入場整理券付き**
- (2) 方法 都道府県連盟・各連盟にて合計費用を取りまとめ、下記口座へ送金。
- (3) 送金期日 **2021年7月16日（金）**

※運用法出場者については、大会事務局からの連絡後、送金ください。  
詳細は「9.発表の部」「男子運用法の部」「女子運用法の部」に適用する事項を参照ください。

- (4) 送金先 **※送金時の依頼人名は「〇〇連盟出場費」としてください。**

百十四銀行 多度津支店 銀行コード0173 店番275 普通預金 口座番号0994997 一般財団法人少林寺拳法連盟 全国大会助成金 会長 川島一浩
--

(5) 注意

- ・ 出場申込締切後、出場取り消しに伴う返金はいたしません。
- ・ 各所属もしくは、個人に対する領収書の発行は、費用を取りまとめている出場連盟へ依頼してください。
- ・ 出場費および入場整理券費用には「新型コロナウイルス感染症予防対策費」を含みます。この対策費は、来場者へのID発行・観客席を含む館内の消毒作業・入館管理の設備費…等に充てられます。
- ・ 本大会では、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、出場者および観覧者は全席指定となります。出場者は、出場費の納入を以て入場整理券が発行されますので、そちらに記載の指定席をご利用ください。観覧者は【2階指定席：2, 000円】【3階指定席：1, 500円】にて入場整理券を発行いたします。(詳細は、後日発信される指定旅行社の案内を参照)

### 3. 全種目に適用する事項

(1) 出場資格【表-1】

※条件として示す年齢は2021年度末(2022年3月末)時点の年齢とする。

部門	種別	種目	科目指定	予選実施	出場資格(主要)
競技の部	組演武	1. 一般男子マスターズの部	—	有	・ 2021年度内に両名とも45歳以上となる者。 ・ 武階不問。男女混成は今回に限り不可とする。
		2. 一般女子マスターズの部	—	有	・ 2021年度内に両名とも35才以上となる者。 ・ 武階不問。
		3. 一般男子五段以上の部	有	有	・ 2021年度内に16才以上。 ・ 全国高校連盟枠で出場の場合は、学校教育法で定められた高等学校(全日制、定時制、通信制)に在籍する者とする。 ・ 高校生以上の出場とする。中学生以下の出場は不可。 ・ 「8」を除き、男女混成は認めない。
		4. 一般男子三段、四段の部	有	有	
		5. 一般男子初段、二段の部	有	有	
		6. 一般女子三段以上の部	有	有	
		7. 一般女子初段、二段の部	有	有	
		8. 女子護身技法の部	—	有	
		9. 中学生男子の部	—	有	・ 義務教育としての中学校に在籍する者。 ・ 武階、学年、年齢は不問。男女の場合は男子の部。
		10. 中学生女子の部	—	有	
		11. 小学生の部A	—	有	・ 4年生以上同士またはどちらかが4年生以上の小学生。 ・ 武階、性別不問。
発表の部	組演武	12. 小学生の部B	—	—	・ 3年生以下の小学生。 ・ 武階、性別不問。
		13. 家族の部	—	—	・ 家族であれば組み合わせは全て可とする。 (親子、夫婦、祖父母と孫、兄弟姉妹の組合せ等) ・ 武階、性別不問。 ・ 三人掛不可。 ※出場資格については、4.「家族の部」出場条件についてを参照。
		14. マイシードの部	—	—	※別に定める
	運用法	15. 男子運用法の部	—	—	・ 初段以上、2021年度内に16才以上。 ・ 男女混成は不可。 ・ 競技種目、発表種目との重複出場を認める。 ・ 運用法実施者は、選考会において組演武に出場していること。
		16. 女子運用法の部	—	—	・ 事前動画審査を行い、審査を通過した組が当日、エキシビジョンとして披露する。
	論文	17. 論文の部	—	—	・ 小学5年生以上(上限年齢制限無し)の者。

(2) 出場者は、一般財団法人少林寺拳法連盟会員規程に基づく義務を果たしていること。

- ・ 2021年度現役会員

- (3) 少林寺拳法競技規則、少林寺拳法審判規則に基づき実施する。
- ・少年部・中学生で禁止されている受身、武階相当技、禁止技、攻撃技等
  - ・「2018～2021年度考試員審判員講習会資料」を十分に確認すること。
- (4) 出場種目は、組演武種目を複数兼ねての出場は認めない。
- (5) 演武者・運用法実施者の組み合わせは、同じ都道府県連盟・各連盟内であれば所属（支部、少林寺拳法部、拳友会）は不問とする。
- ・所属は、全国大会申込み時点での本部登録をもって、所属連盟を確認する。
  - ・重複出場の場合、参加費は各種目選考された連盟からの納入とする。
- (6) 有段者の種目の使用科目は、次記の通りとする。
- ・武階の異なる拳士と組む場合を含めて、各々の武階に応じた範囲までとする。
- 例) 二段の拳士が初段の拳士と組む（初段・二段の部出場）
- 二段の拳士が守者の際は、二段で習得する科目（三段科目）まで
- 初段の拳士が守者の際は、初段で習得する科目（二段科目）まで
- ※攻撃については、守者の使用する科目に合わせ、武階に関する制限はない。
  - ※六段科目「羅漢圧法」（有段者科目表参照）の単独技としての使用は不可。
- (7) 服装、防具、武器等について
- ・服装は、「服装規定」に準じる。なお規定に違反した場合は**失格**とする。
  - ・相手または自身に危険を及ぼすような物は、一切身に付けてはならない。
    - ※メガネ、ハードコンタクトレンズ、金属・プラ製等の髪留め、装飾品（ネックレス、指輪、イヤリング等）
    - ※髪留めはゴム製のみ。
    - ※やむを得ずメガネ等を着用する必要がある場合は、別紙「眼鏡等を着用しての出場に関する誓約書」を提出すること。
  - ・負傷箇所の保護目的以外のサポーター、テーピングは使用禁止。（点呼時のスタッフ並びに、コート担当主審へ報告すること）
  - ・胴の使用は認める。（少林寺拳法連盟公認防具のみ）
  - ・法器、武器は使用禁止。
- (8) **新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昇格考試が開催されなかった場合などに考慮し、本大会の都道府県予選大会・選考会については、7月16日（金）までに取得見込の資格で申し込むことを可とする。詳しくは別紙「出場申込時の資格（武階）に関する特別措置について」を参照すること。**

#### 4. 「家族の部」の出場条件について

近年、「夫婦の部」「親子の部」として実施していた種目を統合して「家族の部」として実施いたします。その趣旨は、コロナ禍における他者との関りが薄くならざるを得ない状況の中で、家族の中で安心して修練し、その発表の場として設けるものです。

家族であれば、組み合わせは全て可といたします。（親子、夫婦、祖父母と孫、兄弟姉妹、など）年齢、資格に制限は設けませんが、趣旨をご理解のうえ、お申込みください。（全ての組を審査、表示のみといたします。）

※出場者に小学生以下の拳士が含まれる場合、「8.発表の部 組演武に適用する事項／（4）家族の部 確認事項」に準拠してください。

#### 5. 競技の部に適用する共通事項

本大会においては、近年の種目とは異なっておりますので、ご注意ください。各種目の出場資格については、「3. 全種目に適用する事項」に記載しておりますので、ご確認ください。

- (1) 競技種目（1～11）は、予選を実施する。本選出場組数は、原則、予選上位6組とする。
- (2) 競技種目（3～7）は、科目指定組演武とする。
- (3) 異なる武階組み合わせの許容範囲について  
 武階が指定されている種目については、指定の武階の拳士と組み、該当する種目に出場することを原則とするが、次表に限り、異なる武階の組み合わせを認める。

種目	組み合わせ
3. 一般男子五段以上の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者五段以上であれば武階の差は不問。</li> <li>・五段と四段の組み合わせのみ認める。（下位は四段まで）</li> <li>・四段と組む場合の武階差は1階級まで。（例：六段・四段は不可）</li> </ul>
4. 一般男子三段、四段の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者同じ武階、または三段と四段の組み合わせとする。</li> <li>・三段と二段の組み合わせのみ認める。（下位は二段まで）</li> <li>・武階差は1階級まで。（例：四段・二段は不可）</li> </ul>
5. 一般男子初段、二段の部 7. 一般女子初段、二段の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者同じ武階、または初段と二段の組み合わせとする。</li> <li>・初段と1級の組み合わせのみ認める。（下位は1級まで）</li> <li>・武階差は1階級まで。（例：二段・1級は不可）</li> </ul>
6. 一般女子三段以上の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者三段以上であれば武階の差は不問。</li> <li>・三段と二段の組み合わせのみ認める。（下位は二段まで）</li> <li>・武階差は1階級まで。（例：四段・二段は不可）</li> </ul>
8. 女子護身技法の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両者有段者であれば武階の差は不問。</li> <li>・初段と1級の組み合わせのみ認める。（下位は1級まで）</li> </ul>

※「女子護身技法の部」以外競技の部各種目は男性同士の組、女性同士の組、男女の組ともに攻者、守者の指定、極めの指定は無し。

- (4) 男女の組による組演武について

①「女子護身技法の部」について

すべての構成において、男性が攻撃を仕掛けていくのに対して女性が守者となり最後の極めを行う。女性の反撃から男女の攻守が入れ替わりながらの攻防は可とするが、男性の極めが生じた場合は15点減点とする。

※出場者は規定内容チェックシートを確認、提出する。（各自必ず控えをとり、提出後も確認ができるようにすること。）

- ・技術度については「男性の攻撃内容に見合った女性の防御、反撃」や「当身の五要素を踏まえて、女性が男性を制している」という視点により審査する。
- ・表現度「構成、リズム、節度」については、男性の攻撃に対して女性が守り、男性を制している過程を表現していることを視点とする。

※演武の形式ではあるが、その中で「護身の技法」を女性が表現することを趣旨とする。

- ②「中学生男子の部」は、男性同士の組、男女の組ともに攻者、守者の指定、極めの指定は無し。

※中学生以下は「宙で回転する受身」の使用は禁止。

## 6. 競技の部における「科目指定組演武」について

**・競技の部 組演武（一般男子、女子各資格別種目）を「科目指定組演武」として実施。**

指定された科目（3技）を使用することを条件とする。（指定された科目の3技は別々の構成で用いる。）

※出場者は規定内容チェックシートを確認、提出する。（各自必ず控えをとり、提出後も確認ができるようにすること。）

- (1) 対象種目について

「一般男子五段以上の部」「一般男子三段、四段の部」「一般男子初段、二段の部」  
 「一般女子三段以上の部」「一般女子初段、二段の部」

- (2) 規定内容について

- ・6構成のうち3構成は、【表-2】指定された科目を構成の始めに使用することを必須条件とする。指定科目の後の連反攻は（する、しないも含めて）自由とする。

但し、五花拳の科目に限り、「始め、途中、終わり」のいずれの段階で使用しても可とする。指定科目の後の連反攻は（する、しないも含めて）自由とする。

※指定された3技を全て使用していない場合は条件を充たしていないものとする。

・指定された科目（五花拳を除く）を構成の始めで使用していない場合、全国大会限定の競技規則として、失格（授賞対象外）とする。（採点、点数の表示のみとする。）

※指定された科目であっても、守者の科目として資格外科目であれば、10点減点となる。

（一般男子初段、二段の部の初段拳士と組んで出場した1級拳士が指定科目のうち、二段科目の守者を行った場合は資格外科目の使用として10点減点とする。）

【表-2】 競技の部における指定科目一覧

種目	指定科目（拳系／資格）	備考
3. 一般男子五段以上の部	押門投外（五花拳／五段科目） 裏投（羅漢拳／四段科目） 半月返（白蓮拳／三段科目）	・半月返の守者は乱構から開始することを条件とする。
4. 一般男子三段、四段の部	片手投切返（龍華拳／四段科目） 三日月返（白蓮拳／三段科目） 押受投（五花拳／四段科目）	・三日月返の守者は待気構から開始することを条件とする。 また、連反攻における「刈足」の使用の有無は条件としない。
5. 一般男子初段、二段の部	逆轉身蹴（三合拳／初段科目） 対天一（天王拳／二段科目） 逆蹴地三（地王拳／二段科目）	・逆轉身蹴の守者は八相構から開始することを条件とする。
6. 一般女子三段以上の部	逆袖巻（羅漢拳／四段科目） 上受投（五花拳／二段科目） 払受地二（地王拳／二段科目）	
7. 一般女子初段、二段の部	龍投（龍華拳／二段科目） 諸手輪抜（龍王拳／初段科目） 巻落（羅漢拳／二段科目）	

### （3）構成上の留意点について

- ・使用する指定された科目について、応用・変化は可とするが、紛らわしいもの、科目として不十分なもの、科目の範疇を逸脱するものについては、その度合いに応じて、その構成の技術度、または表現度「構成・リズム・節度」にて評価する。
  - ・時間稼ぎと思われる残心（不必要・不自然な陣形変更・移動など）については、表現度「構成・リズム・節度」における評価対象とする。
- ※他の演武でも同様であるが、構成上の制約がある科目指定演武では特に注意する。

### （4）科目指定組演武における規定運用について

- ・開始時の構えについて  
科目表の記載と違う構えから開始しても可とする。但し、逆轉身蹴、三日月返、半月返は開始時の構えを科目表の記載内容通りとすることを条件とし、異なる構えから開始した場合は不可・失格となる。
- ・可否の基準（原則）について  
指定された科目（五花拳を除く）の前に別の攻防があると見なされた場合は失格となる。

#### ①柔法の科目に適用（五花拳の科目を除く）

柔法において、牽制としての攻撃に対して「技に取りかかる前の払いと二連までの反撃」を行い、一旦間合いを取った上で改めて指定された科目（柔法）を行った場合は牽制とそれに対する払いとして可とする。

但し、牽制の範囲を逸脱した攻防や技に取りかかる前の払いと二連まで反撃以外の動きと見なされた場合は失格となる。

例) 指定科目が逆袖巻の場合、以下の攻防は不可・失格。

攻者：袖を握る前に、廻蹴を行い、袖を掴む

守者：払受をしたところの袖を掴まれ、逆袖巻を行う

※相手の攻撃を払って(2連攻までの反撃可)、一旦間合いを取った上で、改めて袖を掴み技に取りかかるのは可。

### ②剛法に適用

科目表に定められている攻撃より攻防を始める。科目表に定められているものと違う攻撃より始め、別の攻防があると見なされた場合、別の科目がされたと見なされた場合は失格、不正確な技であると見なされた場合は該当する審査項目における評価に反映される。

### ③五花拳の科目に適用

(該当種目・科目…「一般男子五段以上の部」：押門投外、「一般男子三段、四段の部」：押受投、「一般女子三段以上の部」)

五花拳の科目は「始め、途中、終わり」のいずれの段階で使用しても可とする。指定科目の後の連反攻は(する、しないも含めて)自由とする。

また、応用・変化は可とするが、あくまでも五花拳の特徴を踏まえて、剛法攻撃に対して指定された科目を行う。剛法攻撃以外から指定科目を行ったとみなされた場合は失格、攻者による攻撃が不正確な技であると見なされた場合は、該当する審査項目における評価に反映される。

### (5) 指定科目の注意点について

「科目指定組演武」を実施する各種目において、これまでの全国大会の総括を踏まえた指定科目の注意点を別紙資料として添付しています。

指導者、出場者はその内容を確認した上でそれぞれの科目の特徴を生かした演武を目指し、修練に取り組んでください。

※同じ内容を「2020年度考試員・審判員講習会 参考資料」にも掲載しています。

## 7. 競技の部における「宙で回転する受身」に適用する事項

### (1) 「一般マスターズの部(男子、女子)」「中学生の部(男子、女子)」「小学生の部A」について

・「宙で回転する受身」を禁止とする。

・「宙で回転する受身」を使用した場合は15点減点。

・「一本背投」「肩車」に対して大車輪を用いて両足で着地する受身は使用可。

### (2) 上記(1)以外の各種目について

・「宙で回転する受身」について、減点対象となる事項を設ける。

受身が不十分で危険を伴う内容とみなされた場合は総合点より5点減点とする。

また、攻防に適合していない(守者の体捌き、並びに技の成立条件が不十分な状態で自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は該当する構成の技術度の採点より、各審判員が1点減点とする。

・体の側面から落下している、背中、臀部から落下しているものなどは受身が不十分とみなす。

・受身が不十分であると疑義が生じた場合は、該当コートの審判員の協議を行う。

・攻防に適合していない(自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は各審判員の判断による。

## 8. 発表の部 組演武に適用する事項

- (1) 演武は1回のみ実施する。予選・本選はない。
- (2) 演武内容は、全て自由組演武とする。
- (3) 小学生の部B
  - ・演武時間は、1分～1分30秒以内とする。

### 確認事項

→小学生の部Bに限り、対象となる年代の習得科目などを踏まえて、全国大会限定の規定として、時間の不足に対する減点を行わない。  
※演武全体で連反攻が少ない場合は「構成・リズム・節度」で不十分な内容として評価する。

- ・原則、同じ武階の拳士と組むこと。武階の異なる拳士と組む場合、武階の近い拳士同士で組むことが望ましい。
- ・少年部初段の拳士が使用できる技は、一般初段の習得科目（二段科目）までとする。

- (4) 家族の部（※出場条件は上記「4. 家族の部の出場条件について」を参照ください）

### 確認事項

#### ①組に中学生以下の拳士が含まれる場合 … 1分～1分30秒以内

- ・少年部禁止技は使用不可とする。
- ・組の一方が高校生以上の場合、全ての構成において剛法、柔法問わず、中学生以下の者が技の極め、固めを行う。  
中学生以下の者に対する逆技（極め、固め、投げ）は禁止する。
- ・違反した場合は少年部禁止技と同様に総合点から15点減点とする。  
→中学生以下と高校生以上の体格差、体力差を踏まえた安全管理を目的とする。
- ・中学生以下同士の組は、技の極め、固めは自由とする。

#### ②上記以外 … 1分30秒～2分以内

- ・家族であれば組み合わせは全て可とする。（親子、夫婦、祖父母と孫、兄弟姉妹、など）

## 9. 発表の部「男子運用法の部」「女子運用法の部」に適用する事項

本大会においては、エキシビジョンとしての発表といたします。

ついては、事前に動画審査を行い、大会当日の発表組を選考します。

### 【選考方法】

- ① 都道府県・各連盟の選考会にて、運用法を動画撮影していただきます。  
⇒地区で優秀な成績を収めた男女各1組の動画を大会事務局にご提出ください。  
⇒動画は、審判員および拳士の四肢の動きが画面から途切れることがないように撮影してください。  
(審判員および拳士の映りが小さすぎるものは審査の対象外といたします)  
提出方法：データ送信、CD-R、DVDなど（映像媒体は問わない）  
締切日：**2021年7月16日（金） 大会事務局必着**
- ② 本部審判委員会および大会事務局にて事前審査し、男女各5組を選考いたします。
- ③ 大会事務局より審査結果を所属連盟及び所属長に連絡いたします。（8月下旬頃を予定）運用法の部のみに出場する場合は、出場費・入場整理券費用を納入ください。

- (1) 組み合わせと出場人数、武階について

- ・組み合わせは、高校生以上2名1組（共に初段以上）とする。

※レフリーの出場はありません。大会審判員にて審査を行います。

(2) 防具について

部位	防具	男子	女子
上段	少林寺拳法連盟公認ヘッドガード (黒または赤)	○	○
中段	少林寺拳法連盟公認ボディプロテクター	○	○
下段	ファールカップまたは金的カップ (メーカー、仕様不問) ※道衣(下)の内側に着用する。	○	×
手	少林寺拳法連盟公認拳サポーター	○	○



・少林寺拳法連盟公認ヘッドガード、少林寺拳法連盟公認拳サポーターは、連盟本部事業課にて販売中。(右記写真参照)

(3) 実施方法について

・全国大会運用法実施要領に準じて行う。

**確認事項**

修練、選考会、全国大会の発表における安全性、運用法修練の取り組みの向上を目的として、選考会出場者への事前講習会、及び代表者への全国大会前の講習会の実施をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染状況に合わせて柔軟に対応をお願いします。

評価方法は、攻撃や反撃をとにかく極めるといったポイントをみるのではなく、双方の攻防の動き、技の習得度、防御から反撃への足捌き、体捌きや技を体系的に練り上げているか(戦術の修得度)など、また特に礼儀作法(相手、審判員・レフリーに対するマナー)を重視する。以上、拳(技術)と禅(心)の両面で審査する。

## 10. 発表の部「マイシードの部」(旧「障がい者の部」)について

(1) 参加資格

- ①一般財団法人少林寺拳法連盟会員規程に基づく義務を果たしていること。(現役会員)
- ②身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付、または医師より障がいの診断を受けている者  
 ※障がい及び度合は不問。  
 ※年齢、性別は不問。
- ③引率責任者が終始同伴できること。(開会式等の整列時や演武実施時のコート待機も含む)
- ④所属連盟が主催する選考会において演武発表を行っていること。

(2) 演武内容

- ・単独演武、組演武のいずれも認める。(団体演武は不可とする)  
 ※組演武においては、健常者との組み合わせを認める。  
 ※介護者同伴の演武を認める。  
 ※三人掛も認める。  
 ※演武に際し、車いす・杖等の補助器具の使用を認める。  
 ※法器・武器は使用禁止。
- ・演武は発表のみとし、計時・採点・点数表示は行わない。

### (3) 参加資格の確認

- ・選考会主催者は、出場者の所属長に参加資格を確認し、全国大会への参加申し込みをしてください。
- ・大会運営上、必要に応じて大会事務局より出場者の状況について所属長に問い合わせをすることもあります。

### (4) 注意

- ・会場の大きさや来場者数の多さ等、特殊な環境要因によって発作等を引き起こす危険がある場合は、大会参加の是非を慎重にご判断ください。
- ・発作等の症状によって救急病院での診察・治療も想定し、健康保険証等、治療に要するものを携行してください。

## 1.1. 発表の部「論文の部」について

### (1) テーマ

次記A～Dの中から、テーマをひとつ選択し、下記要領に沿って作文を提出する。

提出された作文を事前審査し、大会当日は優秀発表者の論文発表を行う。

**A 少林寺拳法を通じての仲間づくり**

**B 少林寺拳法を始めてからの自分の変化について**

**C 少林寺拳法の“人づくり”が社会の役に立った（立てる）と感じた瞬間**

**D コロナ禍に際して、拳士としてとるべき行動とそのための修行の在り方**

### (2) 申込要領

- ・都道府県連盟・各連盟選出の者は、上記A～Dのいずれかのテーマを選択の上、テーマに基づいて作文（発表できる文言で執筆）し、所属連盟より全国大会申込締切日までに大会事務局へ提出（必着）する。

※執筆内容（文言）と発表が異なることは認めない。

- ・提出された作文は返却いたしません。全国大会終了後に処分しますので、必要に応じて各自で複写物等を保管してください。

### (3) 作文の仕様

- ・下記原稿用紙にて、表紙1枚、本文4枚以内で作文する。
- ・用紙は、A4サイズ縦書き（原稿用紙横）20字×20字（1枚400字詰め）を使用する。既定サイズ以外の用紙は受け付けない。
- ・原則、参加者本人による手書き、またはワープロ出力にて作成。代筆が必要な場合は、大会事務局へ申し出て、別途理由書を提出する。
- ・手書きの場合は、楷書にて丁寧に筆記し、コピーをしても明瞭であるよう文字は大きく濃く書き、原本を提出のこと。判読しづらい場合は、減点することもある。
- ・表紙には、テーマ、都道府県名、所属連盟、所属団体名（支部・少林寺拳法部、拳友会）、氏名（フリガナ）、武階、年齢を記入する。
- ・本文は、1行目にテーマ、次の行より本文を書き始める。
- ・ページ数をつけ、表紙と共にクリップで綴じる。**（ホチキス止め禁止）**
- ・提出は郵送またはE-mailにて原稿を連盟本部宛に送付する。

### (4) 発表者

- ・審査の後、追って連絡します。

### (5) 注意

- ・都道府県連盟各連盟から選考された「論文の部」申込者（全員）は、他の発表部門の種目と同様、大会パンフレットに氏名記載の上、大会会場にて賞状を贈呈します。会場に来られない方は、大会事務局までご連絡ください。後日、送付します。

- ・「論文の部」申込者かつ優秀発表者以外の方で、大会当日に会場へ入場する方の賞状贈呈の集合場所・要領については、館内放送・貼紙等でご案内予定です。
- ・内容は、少林寺拳法修練または社会での実践活動に基づく結果（事実・出来事）からの評価、研究または考察であること。（仮説だけで終始することは認めない。）

## 12. その他

本大会は、新型コロナウイルス感染症予防対策を厳重に実施して行います。大会参加者・関係者に対するガイドラインは、社会動向と行政の注意喚起などを見極めながら、段階的に通知いたします。今後の発信に十分ご注意ください。

また、上記の関連から、本大会の運営について各種の変動・変更がある場合も想定されます。参加にあたっては、予めご了承のうえ、柔軟にご対応くださるようお願い申し上げます。

以 上